

活火山の登山のまえに



最新の火山活動について気象庁や地方自治体のウェブサイトなどで必ず調べましょう。 [火山登山者](#) [検索](#)

登るルート付近に火口や噴気孔などがいないか事前に確認しましょう。

過去にどんな噴火や災害があったか知っておくと良いでしょう。

避難小屋や山小屋などの避難施設の位置もあらかじめ調べておきましょう。

火口や噴気孔の位置は、国土地理院発行の地形図や日本活火山総覧（気象庁HP）などに掲載されています。 [活火山総覧](#) [検索](#)

登山の前には、登山届も出しましょう。登山届が義務化されている火山もあります。

活火山登山に必要な服装・装備


必須

リュックサック	携帯電話
登山靴	登山地図・地形図
帽子・ヘルメット	ヘッドランプ
軍手	交換用電池
雨具	防寒具
水・飲料	タオル
非常食(おやつ)	非常薬
携帯ラジオ	ゴミ袋

あると便利

登山用ステッキ
日焼け止めクリーム
サングラス
バンドエイド・消毒薬
着替え用Tシャツ
保険証のコピー
携帯電話の予備バッテリー



 地形図(国土地理院発行)での「噴火口 噴気孔」のマーク。
現在活動中のものだけでなく、休止中のものにもマークがついています。

[地理院地図](#) [検索](#)

活火山への登山はダイナミックな火山の営みを感じることが出来るすばらしい体験です。

こうした火山とうまくつき合うために登山の準備を整えましょう。

日本火山学会編集「安全に火山を楽しむために」